

平成 28 年度

事業報告書

社会福祉法人 標津福社会

社会福祉法人 標津福社会 事業報告

1 はじめに

I. 収支決算状況

平成 28 年度の収支事業決算は、町より陽だまり建設に係る資金借入償還補助を受けたことや関係機関のご協力により、標津はまなす苑の入所稼働を上げることができたことなどから平成 27 年度の赤字額より縮小され、法人全体で▲26,366 千円 ※図 1となりました。但し、各会計拠点区分別にみますと、標津はまなす苑拠点では、14,126 千円のプラスとなっており昨年(平成 27 年度 ※図 2)と比較しますと、33,819 千円の改善(収入アップと支出の減)が計れております。

陽だまり拠点では、▲40,493 千円となっておりますが、臨時的経費の外構整備 24,829 千円を差引しますと、法人全体で実質(経常的経費) ▲1,537 千円の収支結果と捉えております。この結果を踏まえ、平成 29 年度は、各事業の稼働を上げる事と同時に必要最小限度の支出をする事で、プラス会計への転換を図ってまいります。

(図 1) 平成 28 年度決算

(単位:円)

区 分	収 入	支 出	差 引
標津はまなす苑拠点	285,090,704	270,963,766	14,126,938
陽だまり拠点	49,015,558	89,509,337	▲ 40,493,779
計	334,106,262	360,473,103	▲ 26,366,841

※ 陽だまり拠点 ⇒ 平成 28 年度支出額 89,509,337 円のうち臨時的経費の外構整備 24,829,200 円を引くと、差引が ▲15,664,579 円となり、法人全体で ▲1,537,641 円

(図 2) 平成 27 年度決算 ※参考

(単位:円)

区 分	収 入	支 出	差 引
標津はまなす苑拠点	269,804,728	289,497,393	▲ 19,692,665
陽だまり拠点	345,363,736	379,980,231	▲ 34,616,495
計	615,168,464	669,477,624	▲ 54,309,160

II. おわりに

法人各事業が安定する事は、町民他、本人や家族が安心して生活ができる場所がある事への安心感に繋がると考えます。まずは平成 29 年度以降もより一層の稼働率向上を目指しながらも、病院や他介護保険施設、関係機関との連携を強化し、事業推進委員会の提言を取り入れながら、計画、執行(収入に応じた支出に心掛ける)に努めてまいります。

2 特別養護老人ホーム標津はまなす苑

【 1.入所の状況 】

	入苑者数（月末）			満床時 ベット数	稼働 ベット数	稼働率 （%）
	男性	女性	合計			
4月	10	48	58	1,740	1,618	93.0
5月	10	46	56	1,798	1,656	92.1
6月	10	45	55	1,740	1,652	94.9
7月	11	46	57	1,798	1,728	96.1
8月	11	47	58	1,798	1,764	98.1
9月	12	47	59	1,890	1,686	89.2
10月	12	45	57	1,953	1,788	91.6
11月	13	44	57	1,890	1,699	89.9
12月	14	45	58	1,953	1,743	89.2
1月	15	45	60	1,953	1,766	90.4
2月	14	47	61	1,764	1,587	90.0
3月	12	49	61	1,953	1,791	91.7
合計	144	554	698	22,230	20,478	
平均	12.0	46.2	58.2	1,852.5	1,706.5	92.1
前年平均	9.4	47.2	56.6	1,769	1,621.6	91.6

・年間の稼働率は92.1であり、前年と比較すると若干の増加がみられているが、目標の95%には至らなかった。

主な要因としては、前年度に比べ入院者数が約半数と減少していたが、退苑者数が前年度とほぼ同等で多かった事であると考えられる。

また、9月より定員を5床増やしたが、ショートステイの需要も多く入院による空きベットが確保できていなかった事により、入所枠のベットをショートステイに振り替えて利用せざるを得なかった事も1つの要因である。

【2. 入院状況・入退所状況】 ※外泊含む

	入院状況			入退所状況	
	延入院日数	実人数	一日平均	入所（入苑）	退所（退苑）
4月	88日	6	2.9人	3	2
5月	98日	6	3.2人	0	2
6月	32日	4	1.1人	2	3
7月	3日	1	0.1人	3	1
8月	13日	2	0.4人	1	1
9月	30日	1	1.0人	2	0
10月	30日	2	1.0人	0	2
11月	21日	1	0.7人	1	1
12月	43日	3	1.4人	2	0
1月	59日	4	1.9人	2	1
2月	102日	5	3.6人	2	2
3月	98日	5	3.2人	2	1
合計	617日			20	16
平均	51.4日	3.3	1.7人		
前年平均	106.7日	6.2	3.5	合計 19	合計 18

- ・入院者数は前年度の約半数
- ・入退所の状況については、退所が16件に対して、入所枠増により新規入所は20件となっている。

【3. 入院時の病名内訳】

	肺炎（誤嚥性含む）	骨折等	その他
H28	5件	1件	14件

※ その他の内訳として、尿路感染症、心不全、蜂窩織炎など。

【4.入退所状況内訳】

※ H28.4.1～H29.3.31

状況	入所			退所		
	在宅	病院	他施設	入院	死亡	他施設
小計	5	15	0	2	14	0
合計	20			16		

- ・新規入所は 20 名、退所は 16 名となっている。
- ・H27 年度はグループホームからの入所が多かったのに対し、H28 年度は医療機関からの入所が多くみられている。

【5. 入所者の介護度】

※ 人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
介1	8	8	8	8	7	7	7	7	7	6	6	6
介2	7	7	8	8	8	8	8	7	7	7	7	7
介3	10	9	8	10	10	10	9	10	10	10	10	10
介4	18	19	19	18	18	19	20	17	18	20	21	21
介5	15	14	13	14	14	15	14	16	15	17	17	17
平均 介護度	3.43	3.42	3.38	3.42	3.42	3.46	3.45	3.49	3.47	3.58	3.59	3.59
前年	3.2	3.2	3.1	3.2	3.2	3.2	3.3	3.3	3.3	3.4	3.3	3.4

- ・年間平均介護度は、3.48 となっており、前年度平均の 3.2 に対して平均要介護度の重度化がみられている状況。
要因として、前年度（H27 年度）の新規入所者の平均要介護度が 3.63 であったのに対して、H28 年度は 4.35 と高くなっている状況であった。

【6. 入所者の年齢構成】※ 集計日 H29.3.31

	人数	認知
65 未満	3	2
65～69	2	2
70～74	3	2
75～79	7	7
80～84	12	11
85～89	12	12
90～	22	22
合計	61	58

男	平均 年齢	77.4	平均 入苑期間 (ヶ月)	2年3ヵ月
女		86.8		3年11ヵ月
計		84.8		3年8ヵ月

【最高年齢】 男性：95歳 女性：103歳
【最年少者】 男性：57歳 女性：64歳

※ 認知症は認知症自立度が「自立」以上の利用者

- ・入苑者平均年齢は **84.9** 歳となっており、昨年度平均 **85.3** 歳と比較し、若干の低下がみられており年々、低年齢化の傾向が続いている。

【7. ADL 状況】 ※ 集計日 H29.3.31 (計 61 名 入院者含む)

① 食事形態
(主食)

	常食	粥	ミキサー	経腸
人数	19	32	5	5

(副食)

	常食	ざく	刻み	極刻み	ミキサー	経腸
人数	13	6	18	11	8	5

- ・便秘傾向の方対象で通常の食事に玄米食を提供。
(排便コントロールに効果がみられている)
- ・
- ・毎月、複式の選択メニューによる手作りのおやつや飲み物などを誕生会喫茶に合わせて提供しています。

② 入浴の状況

	一般浴	特浴	座浴
人数	10	25	26

③ 移動(歩行)の状態

	自立	歩行器	車イス	リクライニング	介助歩行
人数	2	3	41	12	3

【8. 家族等の面会状況】

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
61	222	154	155	218	135	152	122	53	14	12	12	1,310

- ・面会者が極端に少なくなっている月(4月・12月・1月・2月・3月)については、インフルエンザ等の流行時期に面会制限を行った事によるもの。

【9. 会議・委員会等の運営状況】

<p>身体拘束廃止推進委員会 (12回実施)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 各フロア別に身体拘束を行っている入苑者の記録と評価を行う。また、身体拘束解除に向けた取り組みを行う。 身体拘束に繋がりそうな入苑者に対して、対応策を検討、実施する。 職員に身体拘束に対する研修（勉強会）を行う。
<p>事故防止対策委員会 (12回実施)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 各フロア別に施設内の事故報告について個別対策を検討。 ヒヤリハット報告について各フロア毎に統計をとる。 個別に対応した事故報告について、対応を再確認する。 職員に身体拘束に対する研修（勉強会）を行う。
<p>感染症対策委員会 (12回実施)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 施設内点検及び換気扇、入浴設備の清掃。 食中毒、ノロウイルス等の感染症に対する職員研修。 入苑者、利用者、職員の健康状態の確認。 衛生関係備品の確認、準備、指導。
<p>排泄委員会 (12回実施)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 個人別の排泄状況の確認。（使用オムツ等の把握も含む） おむつゼロに向けての取り組み計画、実施、状況確認。 排泄関係の職員研修。
<p>行事企画委員会 (12回実施)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 特養年間行事の企画、立案、準備、運営。 遊びりテーション（集団機能訓練など）、誕生会喫茶、桜見学、ビデオ上映、居酒屋、母の日、父の日、野外食、チャリティープロレス観戦、バスハイク、お盆法要、夏祭り、水きらりパレード見学、標津神社祭見学、敬老会、運動会、文化祭見学、クリスマス会、餅つき、豆まき等。
<p>研修委員会 (12回実施)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 法人内の各研修立案、準備、実施。 内部研修（13回）※新人研修含む 外部研修（延70名）※札幌、帯広、釧路、根室、中標津等
<p>責任者会議 (12回実施)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 諸連絡、調整、法人の事業収支状況報告。
<p>職員（全体）会議 (2回実施)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 平成27年度決算報告、平成28年度予算について。 平成28年度人事評価（部門目標・個人目標）など。
<p>主任会議・副主任会議 (12回実施)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 介護統括主任、フロア主任及び副主任（10名）による意見交換、連絡や報告、ケア方法や職員対応等の確認。

フロアミーティング (12回実施)	・各フロア別によるケアの確認、調整。
サービス担当者会議 (12回実施)	・特養の個別介護計画の評価、検討。
介護士会議 (12回実施)	・特養ケアに対するケア方法の確認統一など。
医療的ケア対策推進委員会 (12回実施)	・介護職員による喀痰吸引の実施状況の確認、及び問題点の検討や看護職員による注意喚起、指導など。
給食会議 (12回実施)	・特養、ショートステイ、デイサービスの食事提供状況の確認。 ・食事の提供に関する希望、要望等の取りまとめ等。
安全衛生委員会 (12回実施)	・労働安全衛生法に基づき、職員の労働災害の予防や健康管理を目的とする取り組み。
その他	・入所優先度判定委員会 (10回) ※諸都合により2回中止 ・地域ケア会議 (12回)

【10. 援助実施内容】

(1) 生活援助

① 食事の提供と援助

入苑者の食事摂取状況に応じた食事形態の提供、また食事中の見守り及び、適切な方法で食事介助を提供する事による自立への支援と誤嚥の予防。

また、食事を楽しんでいただく為、季節毎の行事や献立を工夫して提供。

② 入浴介助

H29年度も一般浴（温泉で大きい浴槽）での入浴を継続して提供。

プライバシーに配慮し、丁寧な介助によりご利用者の清潔の保持、気持ちの良い入浴を心掛ける。

③ 排泄介助

「おむつゼロ」への取り組みの一つとして、個々の状況に応じた排泄の見直しを随時、排泄委員会が中心となって取り組んできた。

H29年度についても昨年度と同様、より一層取り組みを強化し、お一人でも多くの方がトイレでの排泄が可能になるよう継続して取り組みを行いたい。

(2) 健康管理

入苑者が心身共に健康で充実した日常生活を送る事ができるよう、個人の健康状態の把握に努め、標津病院等の協力医療機関の協力の下に健康面の管理を行う。

- ・入苑者健康診断(2回)
- ・入苑者歯科検診(1回)
- ・職員健康診断(2回)

3 標津はまなす苑短期入所生活介護事業所

【 1.利用の状況 】

	延人数 (人)	実人数 (人)	一日平均 利用者数	平均 介護度	稼働 日数	稼働率 (%)
4月	230	28	7.6	1.7	30	85.2
5月	190	22	6.1	1.7	31	68.1
6月	205	26	6.8	1.8	30	75.9
7月	185	26	5.9	2.0	31	66.3
8月	210	27	6.7	2.0	31	75.3
9月	167	22	5.5	1.7	30	139.2
10月	161	19	5.1	1.5	31	129.8
11月	218	26	7.2	2.2	30	181.7
12月	160	20	5.1	2.1	31	129.0
1月	162	17	5.2	2.7	31	130.7
2月	102	17	3.6	1.7	28	91.1
3月	170	23	5.4	2.1	31	137.1
合計	2,160				365	
平均	180	22.8	5.9	1.9		109.1
前年平均	172.1	20.4	5.7	1.81		63.2

- ・9ベット+空床(入院者等の空ベット)の利用型 (H28.4.1~H28.8.31)
- ・4ベット+空床(入院者等の空ベット)の利用型 (H28.9.1~H29.3.31)

4 デイサービスセンター標津はまなす苑

【 1. 利用の状況 】

	延人数 (人)	実人数 (人)	一日平均 利用者数	平均 介護度	稼働 日数	キャン セル	祝日 振替	稼働率 (%)
4月	430	70	21.5	1.0	20	88	8	86.0
5月	425	69	19.3	1.0	22	122		77.2
6月	423	68	19.2	1.0	22	140		76.9
7月	410	68	20.5	1.0	20	99	9	82.0
8月	411	68	20.5	1.0	20	205	13	82.2
9月	420	69	21.0	0.9	20	78	20	84.0
10月	424	67	21.2	0.9	20	92	31	84.8
11月	433	70	21.6	1.0	20	109	33	86.6
12月	429	72	21.4	1.0	20	114	24	85.8
1月	377	72	22.1	0.9	17	134	31	88.7
2月	453	78	22.6	0.9	20	92	6	90.6
3月	503	78	22.8	0.9	22	108	13	91.4
合計	5,138				243	1,381	188	
平均	428	70.7	21.1	1.0		115.0	18	84.5
前年平均	441	70.0	20.8	0.9		42.8		59.2

- ・定員 25 名(予防・要介護複合型) 月～金(週 5 日)の営業。
- ・提供時間 9:00～16:10。

- ・ 利用人数はH27 年度と比べ低下しています。要因としては、標津町の介護認定者の減少もあり、H28 序盤から中盤にかけて新規の利用者が増えなかった事と、新しく小規模多機能施設が出来たことによりそちらを希望される方や、特別養護老人ホーム標津はまなす苑の入所枠が増えた事により入所される方、また、近隣グループホームの2ユニット目の再開による入所等、介護保険を利用される方の選択肢が増えた事による分散が一因として考えられるます。

※ 介護保険上の仕組みとして、施設入所（特養施設や養護施設、グループホーム）や小規模多機能型居宅介護等の利用登録をされると、デイサービスの利用は出来なくなります。

しかし、例年冬期間デイサービス利用は、体調不良や入院、長期不在等様々な

理由により減少する傾向がありますが、H28年度は欠席がほとんど無く新規利用者の増加や既存利用者の方の増回利用等、利用者や利用回数が増え、1月・2月・3月が年間を通して最も高くなっております。

H28年度の1年間の稼働率は84.5%で、1日平均の利用者数は21名となっており、目標としていました、稼働率90%以上、1日平均23名には届きませんでした。年後半の流れをH29年度につなげて行きます。

【 2. 利用者の介護度 】

	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5
4月	22	17	18	11	1	0	1
5月	20	17	19	11	1	0	1
6月	21	17	16	12	1	0	1
7月	20	16	18	12	1	0	1
8月	22	16	16	12	1	0	1
9月	23	16	18	11	0	0	1
10月	21	15	19	11	0	0	1
11月	24	15	18	11	0	1	1
12月	26	16	17	11	0	1	1
1月	27	16	16	11	1	0	1
2月	29	17	19	11	1	0	1
3月	31	15	18	11	1	1	1

【 3. 地区別集計 】

(H29.3.31 時点)

	64以下	65~69	70~74	75~79	80~84	85~89	90以上	計
標津町内	1	0	3	7	15	14	14	54
川北	0	0	1	4	9	5	5	24
古多糠	0	0	0	0	2	1	2	5
茶志骨(パ)	0	0	0	0	0	1	1	2
茶志骨(住)	0	0	0	1	2	0	0	3
薫別	0	0	0	0	0	1	0	1
忠類	0	1	0	0	1	0	0	2
伊茶仁	0	0	0	2	1	1	5	9
合計	1	1	4	14	30	23	27	100

5 標津福祉社会居宅介護支援事業所

【 1. 利用の状況 】

	請求 件数	新規者	要介 1	要介 2	要介 3	要介 4	要介 5
4月	27	1	13	10	2	2	0
5月	28	3	14	10	1	3	0
6月	29	1	14	10	2	3	0
7月	29	4	17	9	0	1	2
8月	27	0	14	10	0	1	2
9月	27	1	16	9	0	1	1
10月	29	3	18	9	0	1	1
11月	29	3	18	9	0	1	1
12月	31	3	17	9	1	3	1
1月	30	1	16	9	1	3	1
2月	32	1	17	10	2	2	1
3月	32	0	17	10	2	2	1
合計	350	21	191	114	11	23	11
平均	29.16	1.75	15.91	9.5	0.9	1.91	0.91
前年平均	16.33	2.17	7.58	6.42	0.25	1.5	0.58

- 平均請求件数（介護サービスを利用して請求できる）は平成28年度一年間で29.16件となっており、前年（平成27年度）の16.33件に比べほぼ2倍近い請求件数となっています。

内訳としては、他居宅事業所より利用者の引き継ぎを行った事によるものと、新規介護認定者が、標津町全体で微増してきている状況があると思われます。

今後も継続して在宅で生活されている介護保険利用者の居宅担当（居宅介護支援事業所）として受け入れ、介護支援専門員として本人、家族とも安心して生活が継続できるよう支援をしていきます。

6 サービス付き高齢者向け住宅「陽だまり」

【 1.入居の状況 】

	新規入居者数（月末）			満室時 入居室数	稼働 入居室数	入居率 （%）
	男性	女性	合計			
4月	0	2	2	20	2	10%
5月	3	1	4	20	6	30%
6月	0	3	3	20	9	45%
7月	0	1	1	20	10	50%
8月	1	3	4	20	14	70%
9月	0	1	1	20	15	75%
10月	0	2	2	20	17	85%
11月	0	1	1	20	18	90%
12月	0	1	1	20	19	95%
1月	1	1	2	20	20	100%
2月	0	0	-1	20	19	95%
3月	0	1	-2	20	17	85%
合計	5	16	18	240	166	
平均				20	13.83	69.2%
前年平均						

【 2.入居者の介護度 】

※ 人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
無	0	0	1	1	1	1	1	1	1	2	2	2
支1	0	0	1	2	2	2	3	3	4	4	4	4
支2	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
介1	1	3	4	4	6	6	6	7	7	9	9	9
介2	1	2	2	2	2	3	4	4	4	4	4	5
介3	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	0
介4	0	0	0	0	1	1	1	1	1	0	0	0
介5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
平均 介護度	1.50	1.16	0.88	0.80	1.21	1.26	1.23	1.22	1.15	0.95	0.95	0.90
前年												

- ・年間平均介護度は、1.10 となり、事業計画段階の予測より若干低い結果となりました。このことは、特養入居条件の厳格化に伴い当初見込んでいたより、低い介護度の入居ニーズが高かったことがうかがわれます。この状況は平成 29 年度においても継続することが予測されることから、入居者のQOL向上を図り入居期間の長期化を実現させていきたいと考えています。

【 3.入居者の年齢構成 】 ※ 集計日 H29.3.31

	人数
65 未満	1
65～69	0
70～74	1
75～79	4
80～84	3
85～89	5
90～	4
合計	18

男	平均 年齢	82.8	平均	8.5
女		82.6	入居期間	7.2
計		82.6	(ヶ月)	7.5

【最高年齢】 男性 : 93 歳 女性 : 96 歳
 【最年少者】 男性 : 77 歳 女性 : 61 歳

7 小規模多機能型居宅介護事業所「陽だまり」

【 1.利用の状況 】

	登録 累計	通所 利用数	通所 延人数	訪問 利用数	訪問 延人数	宿泊 利用数	宿泊 延人数	稼働 日数	通所 稼働率	宿泊 稼働率
4月	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
5月	4	4	47	4	104	0	0	31	10.1%	0.0%
6月	5	5	75	5	85	1	14	30	16.7%	5.2%
7月	6	6	90	6	95	1	31	31	19.4%	11.1%
8月	7	7	87	7	129	0	0	31	18.7%	0.0%
9月	10	10	120	10	257	0	0	30	26.7%	0.0%
10月	12	11	123	11	266	0	0	31	26.5%	0.0%

11月	13	13	127	13	264	1	1	30	28.2%	0.4%
12月	13	13	186	14	313	1	30	31	40.0%	10.8%
1月	14	13	175	13	300	1	31	31	37.6%	11.1%
2月	14	13	192	13	260	2	55	28	45.7%	21.8%
3月	14	14	219	14	153	3	63	31	47.7%	22.6%
合計			1,441				225	335		
平均	10.18	9.9	131	10.0	202.3	0.9	20.4		28.7%	7.5%
前年平均										

※ 稼働率 通所 ⇒ 利用者延人数 ÷ (15名 × 稼働日数) × 100
 宿泊 ⇒ 利用者延人数 ÷ (9名 × 稼働日数) × 100

- ・ 目標としていた、平均介護度 1.9 には届かなかったものの、平均 1.8 を実現できたことは事業開始年度としては目標に近い結果が得られたのではないかと考えられます。
- ・ 通いを中心としたサービスでは 11 ヶ月の平均登録が 9.9 名であり延 1,441 名の利用があり、年後半になるにつれて増えてきております。さらなる利用者増につなげていきたいと考えております。
- ・ 宿泊サービスについては、目標値を若干下回る結果となり、平成 29 年度は宿泊サービスの強化を図る必要があると考えています。
- ・ 訪問サービスについては、併設されているサービス付き高齢者向け住宅入居者への訪問が殆どとなりましたが、平成 29 年度はサービス付き高齢者向け住宅入居者以外の在宅利用者宅訪問のニーズを積極的に受け入れて、利用者拡大に努めていきたいと考えています。

【 2.地区別集計 】

(H29.3.31 時点)

	64 以下	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90 以上	計
標津町内	1	0	0	4	1	5	2	13
川 北	0	0	0	2	1	0	1	4
古多糠	0	0	0	0	0	0	0	0
茶志骨(パ)	0	0	0	0	0	0	2	2
茶志骨(住)	0	0	0	0	0	1	0	1
薫 別	1	0	0	0	0	0	0	1
忠 類	0	0	0	0	0	0	0	0

伊茶仁	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	2	0	0	6	2	6	5	21

8 訪問配食事業

【 1. 利用の状況 】

- ・H28年度の配食数は年間 1,603 食で、延人数は 114 人(月平均 7 人・実人数 14 人)の状況でした。今後についても美味しい、栄養バランスの取れた食事に考慮しながら、健康的な食事を提供していきます。また、配食時には給食サービスの特色を生かし、常に声かけをし、利用者の安否や健康状態の把握に努め、必要あるときは、関係機関と密に連絡調整を行い必要な対処ができるよう努めて参ります。

【 2. 地区別実件数 】

標津地区	6 件
川北地区	3 件